

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	電子公告
期末配当金受領 株主確定日	3月31日	公告の方法 http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)
中間配当金受領 株主確定日	9月30日	
定時株主総会	6月	
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	①住所変更、買取請求： 口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)	株式の手続きに 関するご案内 ②特別口座に記録された株式に関する手続き： 三菱UFJ信託銀行 証券代行部および 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)	③未受領配当金： 三菱UFJ信託銀行本支店で支払

IRメール配信サービスを実施しています！

代表取締役社長 鹿島 亨からのメッセージを株主の皆様にお届けいたします。
ご希望の方は当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いいたします。

ご登録はこちらから

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/info/mail-service/>

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただき、当社の厳重な管理の下で保管いたします。
個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ

株式会社SRAホールディングス IR担当 TEL:03-5979-2666



株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

中期経営計画の初年度であります2016年3月期（2015年度）の業績につきましては、本業において、前年比で〔増収増益〕となりました。

売上高は、開発事業、運用・構築事業、販売事業の全ての事業が増加した結果、7.2%の増収となりました。

収益は、増収と利益率向上による粗利益の増加および販管費の効率化により、営業利益（22.6%増）および経常利益が増益となり、営業利益率（9.5%）も過去最高となりました。しかしながら、当期純利益は、投資有価証券評価損および貸倒引当金繰入額を特別損失に計上*した結果、減益となりました。特別損失の計上については、キャッシュアウトを伴わない一過性の評価損であり、本業において売上高、営業利益、経常利益が通期業績予想を上回る結果となりましたので、

1株当たり配当金は、期末配当を45円（5円増配）*とし、中間配当（25円）と合わせ、年間配当を70円〔15円増配〕としました。

2017年3月期（2016年度）の1株当たり配当金は、85円〔15円増配／配当性向38.6%〕の計画です。

SRAグループは、新体制のもと技術力、営業力を更に強化し、成長市場・有望分野に向けた事業を積極的に展開すると共に、企業価値ならびに株主価値の向上を目指してまいります。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

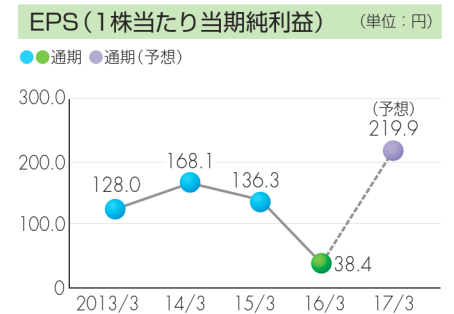
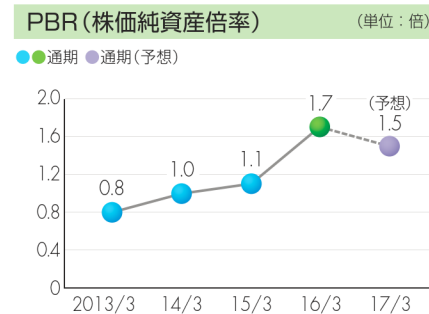
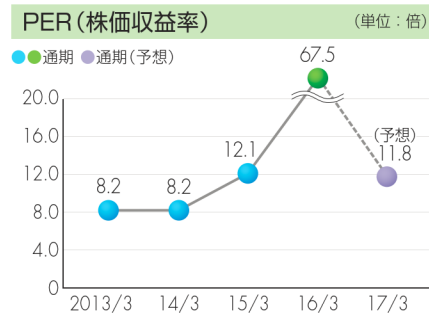
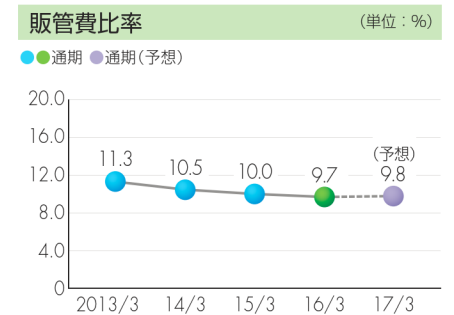
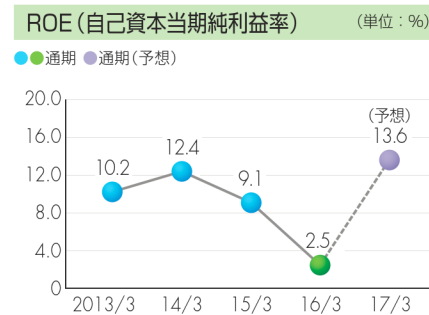
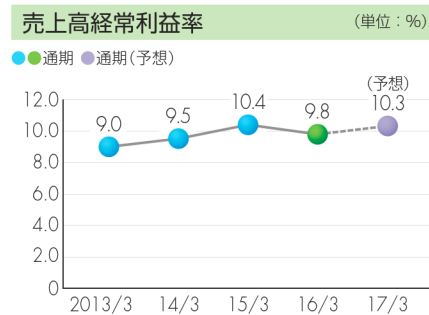
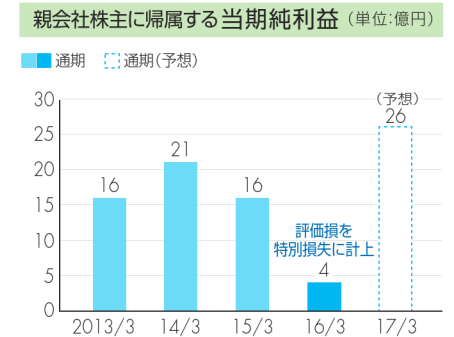
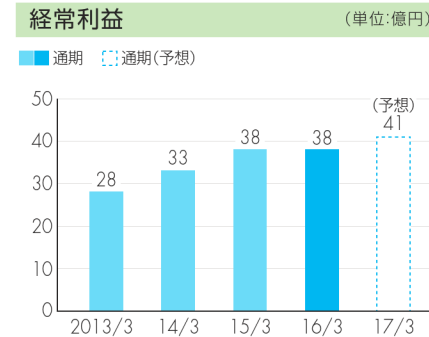
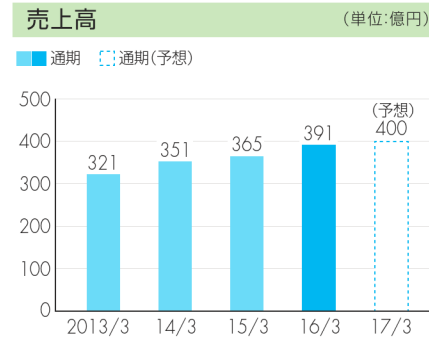


株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨

2016年6月

*〔特別損失の計上〕の詳細ならびに〔特別損失の計上にも関わらず増配する理由〕については発表資料（2016年5月16日）等にてご説明させていただいております。詳細は下記をご覧ください。
<http://www.sra-hd.co.jp/Portals/0/ir/others/20160516.pdf>
<http://www.sra-hd.co.jp/Portals/0/ir/ir-mail/pdf/201605-132.pdf>

連結財務ハイライト



PER=各期末当社東証終値÷1株当たり当期純利益

PBR=各期末当社東証終値÷1株当たり期末純資産

EPS=親会社株主に帰属する当期純利益÷発行済株式数(期中平均)

(注)1. 2017年3月期予想は、2016年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。
 (注)2. 2017年3月期のPER、PBRの算出に係る株価は2016年3月末日の終値を使用、収益等は2017年3月期の予想値を使用しています。

SRAグループの3つの強み

技術先進性

1

自社IP（自社開発）製品をはじめ国内・海外の優れた先進的製品をソリューション/サービスとして提供

1967年の創立以来、「技術先進性」を強みとし、UNIX、インターネット、Linux、オープンソースソフトウェア、そしてワイヤレス、クラウド、ビッグデータと常にIT業界をリードしてきました。その間に培った豊富なノウハウと先進技術力を活かし、世界市場に通用する自社IP製品*を提供しています。自社IP製品ビジネスは、粗利益率95%を狙うことができるものです。また、国内・海外の優れた先進的な製品もソリューション/サービスとして提供しています。

*自社IP製品：知的財産権を有する自社ブランド製品



「学生ポートフォリオシステム」「評価データベースシステム」等、ニーズの高い文教システムをWebサービスにより統合した大学事務ソリューション



様々なコンテンツを配信・管理・販売するためのサービス基盤。著作権を保護したコンテンツ配信から高信頼のECサイト構築・運営を提供



クラウドにおける重要な課題であるセキュリティとコンプライアンスを強化する運用管理ソリューション。SugarCRM社をはじめとする米国の大企業での導入実績をもとに日本でも提供を開始



クラウドコンピューティングにも対応するコンプライアンス対策に最適なメールアーカイブ製品
高速検索・大容量対応を実現



注目のデジタルヘルスビジネスをトータルに支えるマルチプラットフォーム。先進技術をベースに様々なヘルスケアデータの取得と分析に対応
(株) プラクテックスとの共同開発



ソフトウェアの修正コストが最も低い開発初期の段階で、品質や脆弱性の問題を検出する静的解析ツール
少ない初期投資で利用可能なクラウドベースの解析サービスも提供



オープンソースデータベースで実績と定評のある「PostgreSQL」をベースに、データベースの操作ツールやサポートを付属した製品

2

グローバル・リーチ

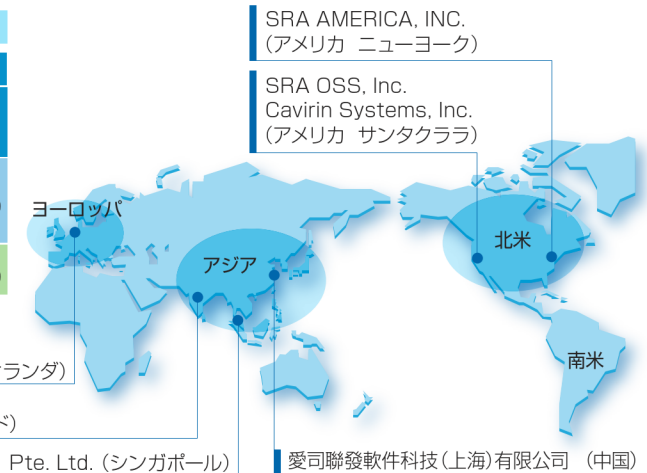
グローバル展開を図るお客様に国際競争力強化に直結するサービスを提供

SRAグループの海外拠点（アメリカ、ヨーロッパ等）の実績・ノウハウと「グローバル・リーチ」を活かし、海外ビジネスを推進している日系企業ならびに現地企業のお客様はもとより、これから海外市場に進出されるお客様に対しても国際競争力強化に直結する各種サービスを提供しています。

また、IT技術の進展と先々のニーズをいち早く捉え、市場優位性のある技術やサービスを有する海外企業と業務・資本提携を行うなど、国内外のお客様へのサービス拡充も図っています。

所在地別セグメント情報

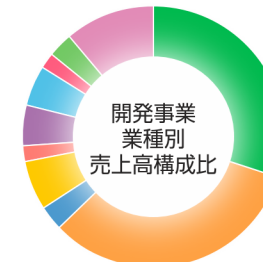
所在地別セグメント	売上高			
	前期 2014年4月1日 ～2015年3月31日	構成比	当期 2015年4月1日 ～2016年3月31日	構成比
海外	3,263百万円 (27,099千ドル)	8.9%	3,393百万円 (28,935千ドル)	8.7%
日本	33,272百万円	91.1%	35,762百万円	91.3%



3

優良顧客基盤

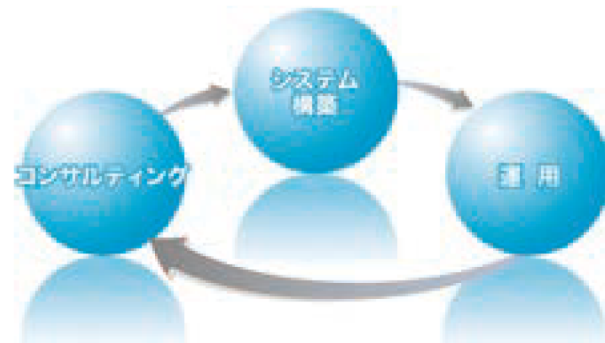
各業界（銀行・証券・製造等）におけるリーディングカンパニーをはじめとする大企業・中堅企業のお客様の成長戦略の推進ならびに国際競争力の強化に貢献しています。



銀行・証券	30%	流通	5%
製造業	33%	大学等	5%
通信	3%	ハードメーカー (Sler)	2%
電力・ガス	6%	情報サービス	3%
生損保	2%	サービス他	11%

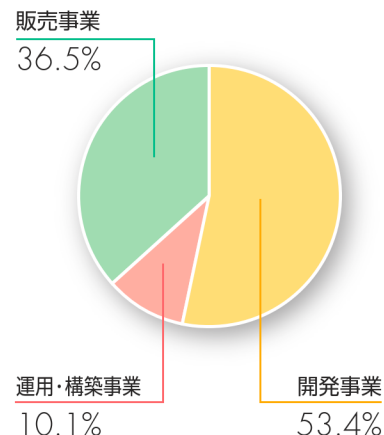
事業内容

企業や大学において、成長戦略の中核を担うIT。
 SRAは、独立系のニュートラルな立場で先進技術力と各業界における業務知識、実績、ノウハウを活かしたシステムの構築により、お客様のIT戦略を成功に導いています。
 また、クラウドコンピューティングの普及に伴いますます高まるセキュリティとコンプライアンスに対する要求に対し、高い技術力と長年にわたる経験、信頼に基づく運用サービスも提供しています。



システム構築	運用サービス	製品・ソリューション
<ul style="list-style-type: none"> ●金融ITサービス ●組込ITサービス ●文教ITサービス ●業務システム構築 ●インフラ構築 ●コンサルティング 	<ul style="list-style-type: none"> ●アウトソーシングサービス ●インフラ運用サービス ●システム運用サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ●危機管理、内部統制、セキュリティ ●文教 ●デジタルコンテンツ、ECサイト構築 ●開発支援、システム品質 ●ヘルスケア、病院 ●オープンソースソフトウェア

セグメント別売上高構成比



開発事業	SRAの強みである先進技術力と豊富な業務知識・ノウハウを活かし、金融・製造組込・文教をはじめ各分野のシステム構築を行っています。
運用・構築事業	強固なセキュリティや安定稼働が必須とされる大企業・中堅企業や先進技術への関心が高い国公立大学・私立大学に対し、システムの運用サービスおよびインフラ構築・運用サービスを提供しています。
販売事業	先進的なUNIXサーバ製品をはじめとする各種のハードウェア製品、SRAの研究技術をベースとした自社IP製品、海外・国内の先進的製品を販売しています。併せて、サポートサービスも提供しています。

ビジネスフィールド

■ 製造/組込IT (ビジネスユース)

- 放送局向け機器
- デジタルシネマ
- 映像配信システム
- 医療用検査機器・測定機器
- カラオケシステム
- POSシステム
- FA機器、NC機械、自動倉庫

■ 病院・ヘルスケア

- デジタルヘルスサービス「HEALTHPLAYER」
- 診察待ち時間予測システム
- 院内教育ソリューション

■ 文教IT

- 総合文教ソリューション「UniVision」
- 学務・入試・会計システム
- 通信教育
- 就職システム
- 学生ポートフォリオシステム
- 大学情報データベースシステム
- キャンパスネット
- インフラ構築・運用サービス

■ 金融IT

- 都銀・地銀・信託／勘定系・情報系システム
- 証券会社／資産運用系システム、オンライントレードシステム
- 生損保／基幹・業務系システム

■ 企業・業務IT

- 物流システム
- 会計システム
- 生産管理システム
- 販売・在庫管理システム
- 顧客管理システム

■ 製造/組込IT (パーソナルユース)

- ホームエネルギーマネジメントシステム
- ホームオートメーション
- ホームセキュリティ
- デジタル家電 [TV/レコーダー、オーディオ機器、パソコン、高機能ゲーム機器]
- モバイル [スマートフォン、タブレット]
- カーナビ、車載システム
- 複合機、プリンター

■ ハードウェア

- UNIX、Linuxサーバ製品 他

■ 製品・ソリューション

- メールアーカイブ「MailDepot」
- オープンソースDB「PowerGres」
- クラウド対応運用管理「cavirin」
- テスト自動化「TestDepot」

他

■ 運用サービス

- アウトソーシングサービス
- インフラ運用サービス
- システム運用サービス

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 2016年3月31日現在	前期末 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	22,204	24,126
固定資産	9,619	7,588
有形固定資産	160	175
無形固定資産	1,117	520
投資その他の資産	8,341	6,891
資産合計	31,823	31,714
負債の部		
流動負債	8,906	8,739
固定負債	4,097	4,116
負債合計	13,004	12,855
純資産の部		
株主資本	17,686	18,030
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,524	4,468
利益剰余金	14,790	15,288
自己株式	△ 2,628	△ 2,727
その他の包括利益累計額	1,102	804
新株予約権	30	25
純資産合計	18,819	18,859
負債・純資産合計	31,823	31,714

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 2015年4月 1日から 2016年3月31日まで	前期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで
売上高	39,155	36,535
売上原価	31,638	29,850
売上総利益	7,517	6,685
販売費及び一般管理費	3,780	3,637
営業利益	3,736	3,047
営業外収益	370	812
営業外費用	256	46
経常利益	3,850	3,813
特別利益	23	43
特別損失	1,973	874
税金等調整前当期純利益	1,899	2,981
法人税等	1,436	1,343
親会社株主に帰属する当期純利益	463	1,638

ポイント

[増収増益]売上高、売上総利益、営業利益、経常利益が増加
売上高は前年比7.2%増。全てのセグメントで増収。親会社株主に
帰属する当期純利益は、特別損失（投資有価証券評価損、貸倒引
当金繰入額）の計上により減少

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 2015年4月 1日から 2016年3月31日まで	前期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,493	3,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,809	△ 1,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 616	△ 932
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 58	151
現金及び現金同等物の増減額	8	883
現金及び現金同等物の期首残高	8,792	7,909
現金及び現金同等物の期末残高	8,833	8,792

株主還元

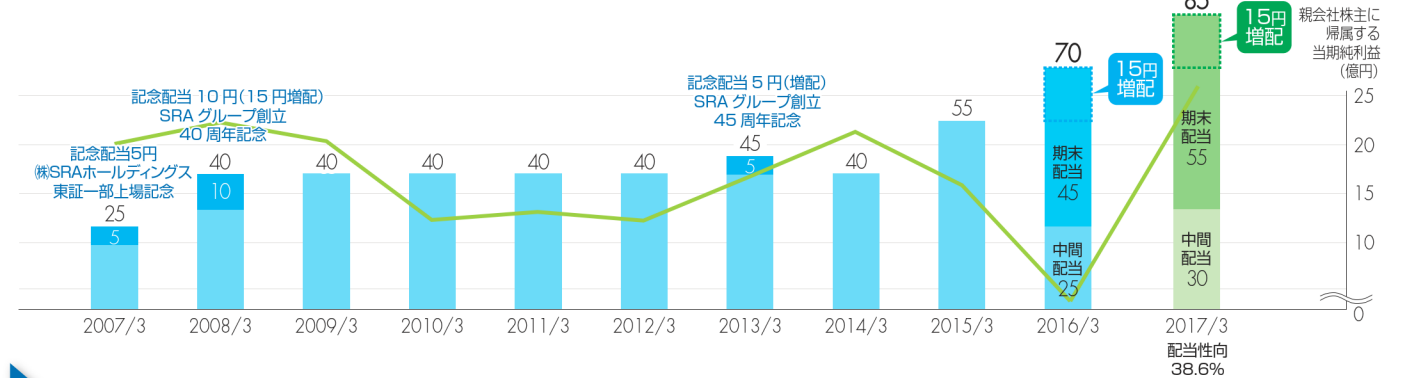
SRAホールディングスは、株主還元のさらなる充実を目的に、2015年度より目標配当性向を段階的に引き上げ、2017年度には50%を目指しております。2015年度 期末配当金は皆様には既にお支払済みですが、1株につき45円とし、中間配当金と合わせ、2015年度の1株当たり配当金は70円〔15円増配〕としました。

なお、2016年度（2017年3月期）の1株当たり配当金は85円〔15円増配/配当性向38.6%〕の計画です。

SRAホールディングスは、これからも株主還元の充実を図ってまいります。

親会社株主に帰属する当期純利益と1株当たり配当金の推移

親会社株主に帰属する当期純利益(億円) 配当(円) 配当計画(円)



ニュース&トピックス

自社IP製品ビジネス×海外ビジネスの強化

株式会社SRAは、アジアをはじめとする海外の成長市場をターゲットに有望分野であるモバイルビジネスを展開すべく、2016年4月に、Tagit Pte. Ltd.と業務・資本提携を締結しました。Tagit社は、シンガポールに本社を置き、インド、マレーシア、カナダに子会社を有する金融向けモバイルアプリケーション開発の先進企業で、アジア各国の大手銀行を顧客としています。今後、両社は、アジアをはじめとする海外の成長市場をターゲットにモバイルビジネスを展開していく計画です。なお、この提携は、中期経営計画の重点施策である「自社IP製品ビジネス×海外ビジネスの強化」の一環です。

(プレスリリースは、<http://www.sra-hd.co.jp/Portals/0/ir/others/20160414.pdf>をご覧ください。)

株式会社SRA 代表取締役社長に石曾根 信が就任

6月23日付でSRAグループの中核会社である株式会社SRAの代表取締役社長に石曾根 信が就任しました。石曾根は、1985年の入社以来、オープンソースソフトウェアを開発・公開するなど常に最先端技術に関わり、CTO（最高技術責任者）としても「技術のSRA」をリードしてきました。今後もSRAは強みである先進技術を活かしビジネスを展開すると共に更なる収益向上を目指します。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



いしそね まこと

株式の状況・会社概要 (2016年3月31日現在)

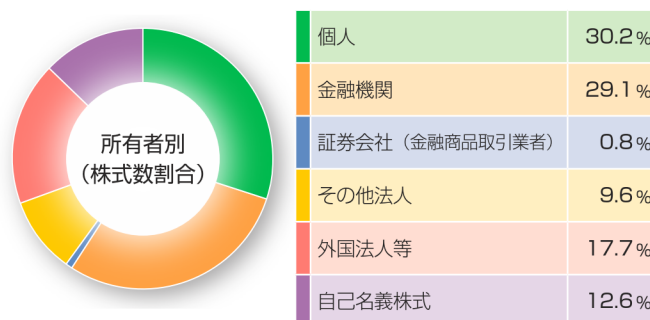
株式の状況

発行可能株式総数	60,960,000株
発行済株式総数	15,240,000株
株主数	4,981名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社SRAホールディングス	1,923	12.6
株式会社SRA	1,190	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	986	6.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	585	3.8
第一生命保険株式会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
SRAホールディングス社員持株会	511	3.3

株式分布状況



会社概要

商号	株式会社SRAホールディングス SRA Holdings, Inc.
本店所在地	東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日	1991年1月28日
資本金	10億円
主要な事業内容	システムの開発事業、運用・構築事業および販売事業を営む事業会社の統括管理
従業員数	1,422名

役員 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	鹿島 亨
取締役	石曾根 信
取締役	大熊 克美
取締役(社外取締役)	堀井 哲夫
取締役(社外取締役)	成川 匡文
常勤監査役(社外監査役)	新延 正憲
監査役(社外監査役)	吉田 昇
監査役(社外監査役)	北村 克己
会計監査人	太陽有限責任監査法人

第26回定時株主総会決議ご通知

平成28年6月24日開催の株式会社SRAホールディングス第26回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告し、決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

- 第26期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件**
本件は、事業報告と連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果を報告いたしました。
- 第26期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)計算書類報告の件**
本件は、計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり責任限定契約を締結できる業務執行を行わない取締役および社外監査役でない監査役についての責任免除に関する規定の変更を行うことで、承認可決されました。

第2号議案 取締役5名選任の件

本件は、原案どおり鹿島 亨、大熊 克美、堀井 哲夫、成川 匡文および石曾根 信の5氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、堀井 哲夫氏および成川 匡文氏は社外取締役であります。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり北村 克己氏が選任され、就任いたしました。
なお、北村 克己氏は社外監査役であります。

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり吉村 茂氏が選任されました。

第5号議案 中期経営計画運動型ストックオプションとして発行する新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任する件

本件は、原案どおり当社の取締役、従業員および子会社の取締役、執行役員および従業員に対し、ストックオプションとして発行する新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任することで、承認可決されました。

第6号議案 職務執行の対価として取締役に割り当てる新株予約権の内容・算定方法決定の件

本件は、原案どおり職務執行の対価として取締役に割り当てる新株予約権の内容・算定方法について承認可決されました。

以上

第26回定時株主総会における議決権行使結果について

決議事項に関する詳細については当社ホームページをご覧ください。

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/gm/>